

# 株主通信

2025年6月



## YBHD NEWS No.69

- 第161回 定時株主総会決議ご通知
- 第161期 事業報告書



株式会社 横河ブリッジホールディングス

証券コード:5911



代表取締役社長 高田 和彦

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第161期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)事業年度が終了いたしましたので、株主通信をお届けし、その概況をご報告申し上げます。

第6次中期経営計画(2022年度から2024年度まで)におきましては、売上高はシステム建築事業での資材高騰等の影響による市場の伸び悩み、エンジニアリング関連事業における大型工事の期ずれ等により目標値に届かなかったものの、橋梁事業の伸長により営業利益は過去最高を更新し、また、EPS(1株当たり純利益)およびROE(自己資本利益率)につきましても、数値目標を達成いたしました。

今後の橋梁事業の事業環境につきましては、新設橋梁は長期的には横ばいで推移し、保全橋梁については、大規模更新・修繕の市場で、年間約3,000億円の発注量が

維持されると想定しております。

システム建築事業につきましては、鉄骨造の非住宅建築の市場が堅調に回復する見込みです。長期的には、バブル期に建設された建築物の更新需要が高まり、市場は拡大すると考えております。

土木関連事業につきましては、トンネルセグメント分野は大規模プロジェクトの計画が堅調に進捗し、長期的な需要が見込まれます。また、洋上風力発電関連では、プロジェクトの実証実験に向けた準備が進行中であり、関連する土木鋼構造物の大きな需要の増加が見込まれます。

当社は、本年5月に2025年度を初年度、2027年度を最終年度とする第7次中期経営計画を発表いたしました。本中期経営計画では、「成長分野へのグループ経営資源の積極投入と収益構造の強靱化」を基本方針として掲げております。橋梁保全事業、システム建築事業、エンジニアリング事業(土木関連)、そして全社的なデジタル化の推進の4つを注力分野と定め、積極的に経営資源を投入することで、目標の達成を目指してまいります。また、今後の株主還元につきましては、累進配当を継続して増配基調を維持するとともに、業績変動の影響を抑えるため、本中計よりDOE(自己資本配当率)を新たに導入いたしました。本中計の詳細は3・4頁の「第7次中期経営計画のご紹介」をご覧ください。

今後もグループ一丸となり、株主の皆様のご期待に応えられますよう努力してまいりますので、引き続き倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

## 第161回定時株主総会決議ご通知

2025年6月26日開催の当社第161回定時株主総会におきまして、以下のとおり報告ならびに決議されましたので報告申し上げます。

### 報告事項

#### 1. 第161期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件

本件は、上記事業報告、連結計算書類の内容およびその監査結果を報告いたしました。

#### 2. 第161期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)計算書類報告の件

本件は、上記計算書類の内容を報告いたしました。

### 決議事項

#### 第1号議案

#### 剰余金の配当の件

本件は、原案どおり承認可決されました。(期末配当金は1株につき55円と決定いたしました。)

#### 第2号議案

#### 取締役(監査等委員である取締役を除く。)7名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、取締役に高田和彦、中村譲、宮本英典、黒本和憲、天野玲子、神野秀磨の6氏が再選され、湯川雅之氏が新たに選任され、それぞれ就任いたしました。  
なお、黒本和憲、天野玲子、神野秀磨の3氏は、社外取締役であります。

#### 第3号議案

#### 監査等委員である取締役1名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、監査等委員である取締役に梶山園子氏が新たに選任され、就任いたしました。  
なお、梶山園子氏は、社外取締役であります。

以上

本総会終了後開催いたしました取締役会において、次のとおり代表取締役が選定され、それぞれ就任いたしました。

代表取締役  
取締役社長 高田 和彦 (重任)

代表取締役  
専務執行役員 中村 譲 (新任)

また、同じく監査等委員会において、廣川亮吾氏が常勤の監査等委員に選定され、就任いたしました。

# 第7次中期経営計画のご紹介

第7次中期経営計画の詳細はこちらをご覧ください  
<https://www.ybhd.co.jp/ir/medium-term/>



当社グループは、2025年度を初年度とする第7次中期経営計画(2025年度から2027年度まで)を策定いたしました。

**▶ 経営ビジョン** 企業理念である「社会公共への奉仕と健全経営」に基づいた持続的な成長を実現するため、経営ビジョンを見直しました

匠の技とデジタル技術を融合し、良質な社会インフラを提供することで、安全・安心で豊かな暮らしに貢献します

**▶ 基幹事業の役割と将来像** 事業ポートフォリオにおいてそれぞれの事業が果たすべき役割と、中長期で目指す将来像を設定しました



**▶ 基本方針** 成長分野へのグループ経営資源の積極投入と収益構造の強靭化

橋梁事業	保全事業を中心とした領域拡大、デジタル化推進による安全性・品質・生産性の向上	新設/保全の最適バランスを踏まえた人材配置・技術開発・協力業者確保・アライアンス構築と、デジタル化のさらなる推進
システム建築事業	商品価値向上とマーケティング戦略に基づくトップシェアの維持拡大	DX/ITによるプロセスチェーンの強化と研究開発による価値向上、地域・用途・顧客等の属性に応じた効果的な営業体制の構築
エンジニアリング事業	新規分野への積極的な進出	地下河川構造物・洋上風力発電設備などの新規分野に、独自技術と斬新な技術開発で挑む

※第7次中期経営計画より事業セグメントの見直しを行い、「システム建築事業」を「エンジニアリング関連事業」から独立させました。

**▶ 業績数値目標**

足元の収益性を高め、業績の安定性と成長性を示すことでPBR 1倍超えを目指す

第7次中計 目標 (FY2027)	
売上高	2,000億円
営業利益	185億円
ROE	10%以上
EPS	350円

**▶ 資本政策** 財務の健全性と資本の効率性の両立を図る

目標 ROE 10%以上 (FY2027)

●ROEは第7次中計最終年度に株主資本コストの7%程度を上回る水準の「10%以上」を目指す

**▶ 株主還元** DOE(自己資本配当率)を導入 機動的な自己株式取得により株主還元を拡大

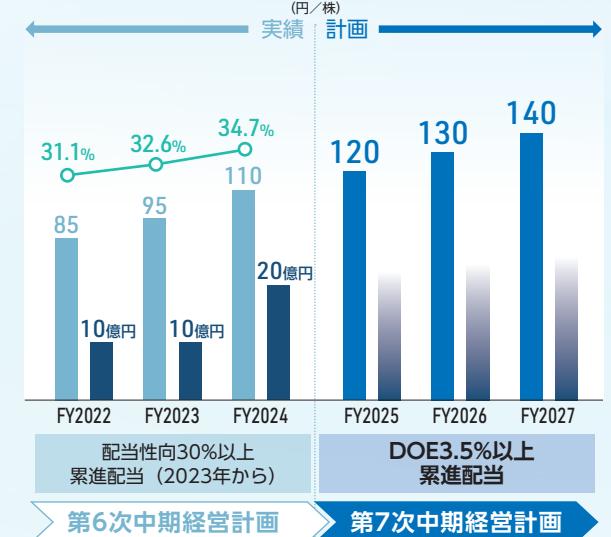
配当 DOE 3.5%以上

- 累進配当を継続
- 増配基調を維持

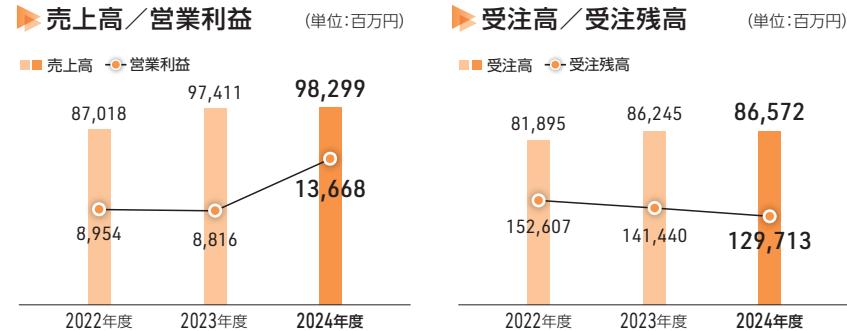
**▶ キャッシュアロケーション**



**▶ 配当金の推移**

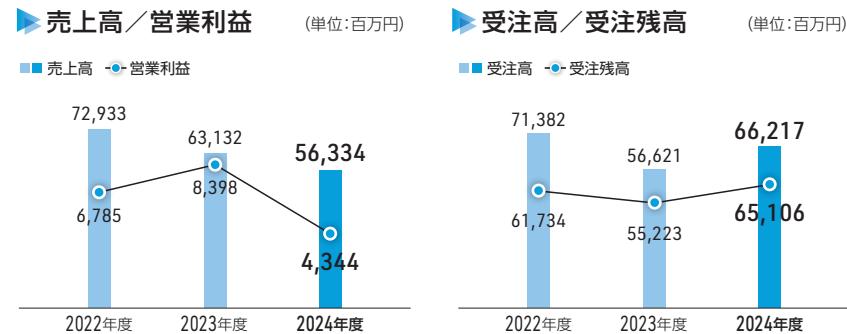


橋梁事業



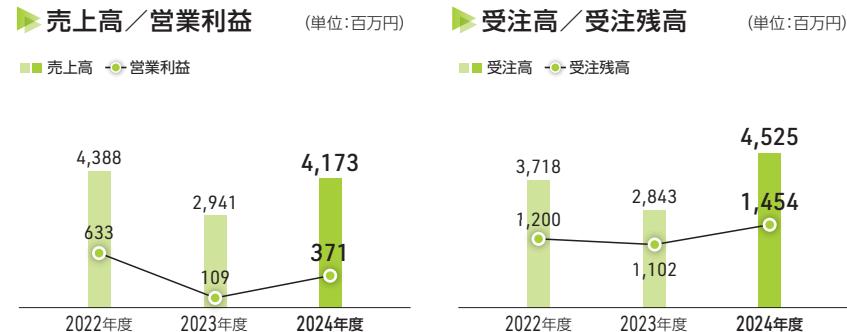
- ▶ 計画の後ろ倒し等により発注量が伸び悩む厳しい事業環境となる中、下半期は受注が伸び悩んだものの上半期が好調に推移したことにより、橋梁事業全体の受注高は前期並みの865億7千万円(前期比3億2千万円増)を確保しました。業績につきましては、豊富な手持ち工事が順調に進捗し、売上高は982億9千万円(同8億8千万円増)、営業利益は大型の設計変更が重なったことで、過去最高の136億6千万円(同48億5千万円増)となりました。
- ▶ 来期の業績は、売上高887億円、営業利益98億円と予想しております。

エンジニアリング関連事業



- ▶ システム建築事業の受注は、中小規模の工場・倉庫案件を中心に建設コスト上昇等による設備投資計画の延期や見直しの動きが続いたことで想定を下回って推移しましたが、期末に向けて回復し、受注面積は68万㎡(前年同期59万㎡)となりました。事業全体の受注高も前期から持ち直し、662億1千万円(前期比95億9千万円増)となりました。業績につきましては、システム建築事業において、受注の伸び悩みにより生産量が少ない状況が続いたことから、売上高は563億3千万円(同67億9千万円減)、営業利益は43億4千万円(同40億5千万円減)に止まりました。
- ▶ 来期の業績は、システム建築事業で売上高487億円、営業利益29億円、エンジニアリング事業で売上高195億円、営業利益16億円と予想しております。

先端技術事業



- ▶ 精密機器製造事業の受注が回復し、受注高は45億2千万円(前期比16億8千万円増)となりました。業績につきましても、受注の増加により売上高は41億7千万円(同12億3千万円増)、営業利益は3億7千万円(同2億6千万円増)となりました。
- ▶ 来期の業績は、売上高45億円、営業利益1億円と予想しております。

当期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)の業績につきましては、売上高は1,593億6千万円(前期比47億円減)となりました。また、営業利益は166億7千万円(同7億3千万円増)、経常利益は162億9千万円(同4億3千万円増)、投資有価証券の売却益等の計上により親会社株主に帰属する当期純利益は128億5千万円(同10億円増)となり、各利益は過去最高を更新しました。

来期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)の見通しとしましては、売上高は若干の増収となりますが、人件費やIT関連費用の増加等により減益を想定しております。全体の通期業績は、売上高は1,620億円、営業利益は120億円、経常利益は118億円、親会社株主に帰属する当期純利益は81億円と予想しております。



決算情報の詳細はこちらからご覧ください  
<https://www.ybhd.co.jp/ir/results/>



取締役

ゆかわ まさゆき  
**湯川 雅之** 取締役  
 企画室担当

略歴

1989年4月	住友金属工業株式会社(現 日本製鉄株式会社)入社	2022年6月	同社取締役常務執行役員監査室・総務部・企画管理部・地下空間技術部担当
2009年7月	株式会社住金ブリッジ(現 株式会社横河NSエンジニアリング)技術部長	2023年4月	当社執行役員企画室長
2018年6月	同社取締役東京営業部・大阪営業部・鉄構エンジニアリング技術部・セグメント技術部担当	2024年10月	当社執行役員企画室担当
2020年6月	同社執行役員監査室長・総務部・設計部・鉄構エンジニアリング技術部・セグメント技術部担当	2025年4月	株式会社横河NSエンジニアリング取締役常務執行役員監査室担当
2021年10月	同社執行役員監査室・総務部・企画管理部・地下空間技術部担当	2025年6月	同社代表取締役社長執行役員(現任) 当社取締役執行役員(現任)



取締役

かじやま そのこ  
**梶山 園子** 社外取締役  
 (監査等委員)

略歴

1991年4月	富士通株式会社入社		
2002年10月	朝日監査法人(現 有限責任あずさ監査法人)入所	2023年12月	ソニー・オリンパスメディカルソリューション株式会社監査役 オリンパス株式会社デビュティチャーフィナンシャルオーディットオフィサーシニアバイスプレジデント
2013年3月	株式会社LIXIL入社		
2018年1月	同社内部監査統括部品質保証部長	2024年3月	日本マクドナルドホールディングス株式会社社外監査役(現任)
2019年7月	同社グループ監査委員会事務局長 株式会社LIXIL TEPCOスマートパートナーズ監査役		日本マクドナルド株式会社監査役(現任)
2020年4月	オリンパス株式会社インターナルオーディット部門・プランニング&クオリティグローバルバイスプレジデント	2024年6月	伊藤忠エネクス株式会社社外監査役(現任)
2020年6月	同社インターナルオーディット部門・インターナルオーディットチャイナシニアディレクター	2025年6月	当社社外取締役(監査等委員)(現任)



執行役員

みつだ ひろし  
**光田 浩**

執行役員  
法務部・総務人事部・不動産管理室・コンプライアンス担当

略 歴	1991年 4月	当社入社	2024年 4月	同社取締役常務執行役員総務本部長兼技術計画室長兼アドバンストエンジニアリング事業部長、監査室担当
	2020年 6月	株式会社横河ブリッジ執行役員設計本部長兼東京設計第二部長	2025年 4月	当社執行役員(現任)
	2022年 6月	同社取締役執行役員設計本部長、アドバンストエンジニアリング事業部担当		株式会社横河ブリッジ取締役常務執行役員総務本部長(現任)
	2023年 4月	同社取締役執行役員総務本部長兼技術計画室長、監査室担当		

なかおか やすつぐ  
**中岡 康次**

執行役員  
財務IR室長

略 歴	1989年 4月	株式会社日本長期信用銀行(現 株式会社SBI新生銀行)入行	2013年 10月	株式会社みずほフィナンシャルグループ管理部次長
	2000年 9月	株式会社日本興業銀行(現 株式会社みずほ銀行)入行	2017年 4月	同社ファシリティアマネジメント部次長
	2009年 10月	株式会社みずほフィナンシャルグループ主計部次長	2020年 4月	当社財務IR室長
	2012年 7月	株式会社みずほコーポレート銀行(現 株式会社みずほ銀行)管理部次長	2020年 10月	当社理事財務IR室長
			2025年 4月	当社執行役員(現任)

かすがい としひろ  
**春日井 俊博**

執行役員  
技術総括室長、サステナビリティ担当

略 歴	1988年 4月	当社入社	2019年 6月	株式会社横河ブリッジ技監、技術全般
	2015年 10月	当社理事総合技術研究所長	2022年 4月	同社執行役員技術本部長(現任)
	2018年 10月	当社理事技術総括室長	2025年 4月	当社執行役員(現任)

技監

いしい ひろのり  
**石井 博典**

技監  
総合技術研究所長 兼 新規事業開発室長

略 歴	1993年 4月	当社入社		
	2021年 10月	当社理事総合技術研究所長		
	2024年 4月	当社理事総合技術研究所長兼新規事業開発室長		
	2025年 4月	当社技監(現任)		

▶ 会社概要

社 名	株式会社横河ブリッジホールディングス
所 在 地	〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目4番44号 TEL:03-3453-4111(代表)
資 本 金	9,435百万円
主 な 機 能	経営戦略、法務・監査、経理・財務 総務・人事、IR・広報、技術研究開発

▶ 役員一覧 (2025年6月26日現在)

代 表 取 締 役 社 長	高 田 和 彦
代 表 取 締 役 専 務 執 行 役 員	中 村 讓
取 締 役 常 務 執 行 役 員	宮 本 英 典
取 締 役 執 行 役 員	湯 川 雅 之
社 外 取 締 役	黒 本 和 憲
社 外 取 締 役	天 野 玲 子
社 外 取 締 役	神 野 秀 磨
取 締 役 常 勤 監 査 等 委 員	廣 川 亮 吾
社 外 取 締 役 監 査 等 委 員	尾 崎 聖 治
社 外 取 締 役 監 査 等 委 員	渋 村 晴 子
社 外 取 締 役 監 査 等 委 員	梶 山 園 子
常 務 執 行 役 員	小 林 明
執 行 役 員	梶 宏 人
執 行 役 員	生 越 寿 昭
執 行 役 員	高 藤 伸 治
執 行 役 員	光 田 浩
執 行 役 員	中 岡 康 次
執 行 役 員	春 日 井 俊 博
技 監	石 井 博 典

▶ 株式の状況

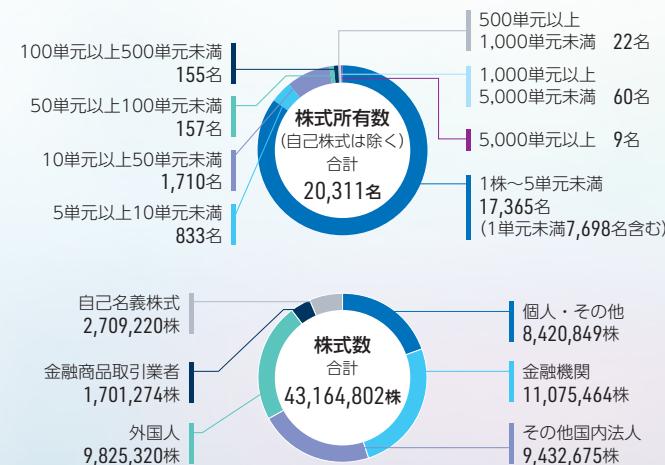
発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式総数	43,164,802株
株主数	20,312名

▶ 大株主 (上位10名)

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	5,287	13.06
(株)日本カストディ銀行(信託口)	3,161	7.81
日本製鉄(株)	1,987	4.91
横河電機(株)	1,676	4.14
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,344	3.32
横河ブリッジホールディングス従業員持株会	964	2.38
RE FUND 107-CLIENT AC	705	1.74
三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	658	1.62
日本生命保険相互会社	543	1.34
JPモルガン証券(株)	472	1.16

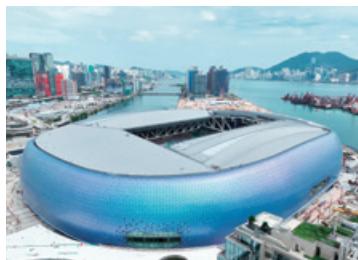
(注) 1. 当社は、自己株式を2,709,220株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

▶ 株式分布状況



## ▶ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年3月31日
基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	<a href="https://www.ybhd.co.jp/">https://www.ybhd.co.jp/</a>



表紙の写真

### カイタックスタジアム

所在地：香港 九龍地区  
敷地面積：280,000m<sup>2</sup>  
(カイタックスポーツパーク全体)  
開閉屋根面積：6,750m<sup>2</sup>(開閉屋根1枚あたり)  
客席数：約5万席  
オープン日：2025年3月1日

カイタックスポーツパークは、香港のスポーツ文化の発展と市民の健康増進を目的として旧カイタック空港の跡地に建設された大規模スポーツ・レジャー施設で、カイタックスタジアムはその施設の中のひとつです。

カイタックスタジアムは、世界的に有名な建築事務所によって設計され、最新の技術と環境に配慮した設計が取り入れられています。天候に左右されずにイベントを開催でき、また、音響や騒音が周囲の住民に影響を与えないようにするため、スタジアム上部に開閉屋根を設置しています。当社グループでは、その開閉屋根の駆動機構に関する設計・製作・現場施工を行いました。



株式会社 横河ブリッジホールディングス

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目4番44号  
TEL. 03-3453-4111 (代表) <https://www.ybhd.co.jp/>

## 当社ウェブサイトのご紹介



トップページ



サステナビリティページ

当社事業だけでなく、IRやサステナビリティ、ガバナンスなど、より充実した情報を株主の皆様にお届けしてまいりますので、ぜひご覧ください。



アクセスはこちらから

<https://www.ybhd.co.jp/>

